

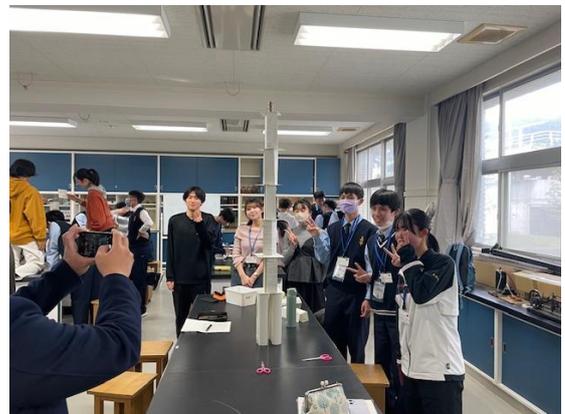
## 第 2 回台湾国立嘉義高級中学との交流

令和 7 年 1 月 20 日(月)に台湾国立嘉義高級中学の生徒 17 名が来校し、英語の使用を中心とした国際交流活動を行いました。一高からは 2 年生 51 名が参加し、歓迎式、一高科学の甲子園、課題研究発表、文化交流活動などを行いました。

台湾国立嘉義高級中学校との交流は今年度 2 度目であり、今回参加した生徒は前回の経験を踏まえ自信を持って交流会に臨んでいました。歓迎式や科学の甲子園などの司会進行はすべて生徒が英語で行い、授業で学んだ知識を生かしながら交流を楽しんでいる様子でした。



本校校長と教務主任 張威傑氏



一高科学の甲子園

A4 の紙とハサミのみで、より高いタワーを作成する「一高科学の甲子園」では、各グループアイディアを出し合いながら果敢にタワー作成に取り組んでいました。完成間際に崩落するグループも見られましたが、最後には全員笑顔でこの実験を終えることができていました。



英語による課題研究ポスター発表



嘉義高級中学の生徒による合唱

午後に行われた「英語による課題研究ポスター発表」では、1 年間積み重ねてきた課題研究の成果を嘉義高中の生徒に披露しました。身振り手振りを交えた発表を嘉義高中の生徒は熱心に聞き入り、発表後の質問コーナーでは鋭い質問が飛び交い、非常に有意義な時間を生徒は過ごすことができた

裏面に続く

様子でした。また閉会式では、嘉義高中の生徒が合唱を披露してくださり感動的なフィナーレを迎えることができました。

これから SS 国際交流を選択している生徒は、3月に予定されている台湾研修に向けさらに英語の学習に力を入れていきます。今回の交流で深めた自信を胸に、更なる飛躍に期待していきたいと思います。

#### 【参加者の感想】

- ・台湾の研究のレベルの高さに驚いた。プログラミングを用いている研究が多く、台湾の AI 関連の強さを実感した。（2年）
- ・嘉義高校の皆さんの研究や研究するための道具づくりなど次元が違っていると感じました。また、自由な発想やデザインで見ているととても面白かった。欲を言えば全ての班の発表を聞きたかった。（2年）

・日本の学校と台湾の学校の違いを教えて貰えて英語を聞き取るのも表現するのも大変だったけど伝わった時の達成感が大きかった。（2年）

・バディ以外の人と交流でき、台湾と日本の食事マナーの違いを話し、興味深かった。（2年）

・英語での発表を瞬時に理解するのがとても難しかった。台湾の学生さんたちは、英語がとても流暢で抑揚の付け方も上手で、私も見習いたいと思った。3月に台湾で発表するまでに、前回より数段レベルアップした状態にできるよう、練習を多くすることはもちろん、英語にふれる機会を増やしたいと思った。（2年）

・ The Japanese students' projects are informative and the presentation also enhance both of ours speaking skill. （嘉義高中 2年）

・ It's a great opportunity to share our project to foreign students, what's more , the presentations of the Japanese students were also impressive. （嘉義高中 2年）



#### 編集後記

参加生徒の感想から、英語を使用しながら自分の考えを表現する喜びが英語力向上のモチベーションとしていかに重要であるかが伝わってきた。台湾の高校生の英語力は高く、一高生もそれに負けないよう学習に取り組むことが必要であると感じた。